

# 熊野古道中辺路

## 熊野古道その1

### 滝尻から野中へ

険しい道の多い熊野古道ですが、現在では標識も整備され比較的歩きやすいルートもあります。なかでも人気のコースのひとつが滝尻から野中に至る古道です。王子跡や古道のアイドルと呼ばれる「牛馬童子像」、熊野那智大社の方角にだけ枝を伸ばしている「野中の万杉」など見どころもたくさんあります。

スタートの滝尻王子は熊野九十九王子のなかでも重要な五昧王子の一つです。熊野の聖域は滝尻から始まります。滝尻の裏山には奥州の藤原秀衡にまつわる伝説の乳岩、途中の高原では里山や果無山脈を見晴らすさわやかな風景にも出会えます。最高地点の悪四郎山を過ぎると、野中までは楽なルート。花山法皇の旅姿を



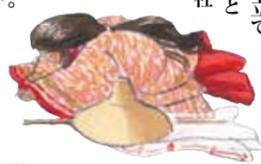
牛馬童子像 [MAP 1] D-3

模したという牛馬童子像を愛で、露のどかな里山の風景を楽しみながらのんびり歩くこともできます。野中には継枝王子があります。境内を覆う樹齢800年という杉は那智山の方向にだけ枝を伸ばすので「万杉」と呼ばれます。継枝王子の真下にある日本名水百選の「野中の清水」にも立ち寄りたいたいものです。いにしえから湧く名水は今も変わらず、疲れた体を癒してくれま

### 野中から熊野本宮大社へ

継枝王子のある野中からスタートし、小広王子を過ぎると木の国ならではの杉林にだけ入り込みます。上り下りの多い道ですが「草鞋峠」「岩神峠」「三越峠」の難所を越えてやると熊野本宮大社の神域の入り口、発心門王子にたどりつきます。発心門王子は五昧王子の一つで、かつては大きな鳥居があり、熊野詣の人々はその前でお祓いをしてから鳥居をくぐったといわれています。ここから、熊野本宮大社への道はそれまでの困難な道が癒すかのようなゆるやかな道が続きます。茶畑などのどかな里山の風景も心を和ませてくれます。いくつもの難所を越え、熊野本宮大社の神門をくぐるとき、今も昔と変わらぬ感動が湧き上がってくるでしょう。

長い苦しい旅の果てに熊野の神の神域に入った感動はどんなものだったのでしょうか。熊野本宮大社まであと二息の場所にある伏拝王子からは、熊野川の中洲にある熊野本宮大社の旧社地大斎原を望むことができます。熊野詣の人々が大社を望み、伏して拝んだという王子に立てば、現代の旅人もいしえと同じ感動を覚えます。旧社地大斎原は、音無川、熊野川、岩田川の三川が合流する場所にあります。昔は音無川には橋がなく、参詣者は音無川の流れて身を清めてから熊野本宮大社に入るといわれています。



袖摺坂の石畳 [MAP 1] C-4



滝尻王子 [MAP 1] D-2



高原からの眺望 [MAP 1] D-3 [MAP 7] A-2



発心門王子 [MAP 1] C-4

### 熊野古道語り部

熊野の歴史や伝説、古道を彩る四季の草花や里の暮らしなどを良く知る語り部と熊野古道を歩けば、古道への思いはより深いものになります。



野中の一杉 [MAP 6] B-4

熊野古道を歩くときにも便利です。

地図の請求先  
和歌山県観光連盟  
073-422-4631

- 王子
- トイレ
- コンビニ食料品店
- 土産販売所
- 公衆電話
- 緊急電話
- 自販機
- 休憩所
- 水汲場
- 朝日夕陽100選
- 見晴らしポイント
- バス停
- 神社
- スタンプ押印所

### 熊野古道館 [MAP 1] D-2 [MAP 7] B-1

町内の12の王子社にちなんで12角形の建物が目印の熊野古道館は、熊野古道を中心とした中辺路の観光案内と歴史紹介を兼ねた休憩施設です。熊野懐紙や滝尻王子社の所蔵品などの展示をはじめ、古道に関する資料や中辺路の観光情報が満載です。古道歩きの下調べに、是非立ち寄ってください。

### 道の駅 熊野古道中辺路 [MAP 1] D-3 [MAP 6] A-1

国道311号沿いにあります。目の前に牛馬童子の彫像があり、古道歩きへの入り口があり、古道歩きの出発点に最適です。名物よぎ餅をはじめ、地元名産を販売、軽い食事できます。

### 道の駅 奥熊野古道ほんぐ [MAP 1] C-5

熊野川に臨む道の駅です。熊野本宮大社をイメージした建物には、地元産品の販売所や軽食コーナー、熊野に関する展示コーナーもあります。熊野古道歩きには欠かせない古道弁当も販売しています(要予約)。また地元でとれた音無茶で作った「ほうじ茶ソフトクリーム」も人気です。

### 世界遺産熊野本宮館 [MAP 1] C-5 [MAP 4] B-3

自然と伝統、木材をコンセプトに建設されました。館内では和歌山県の世界遺産を中心に紹介。熊野、高野についての知識を深められます。熊野本宮については、曼荼羅・熊野信仰・修験道・時宗を軸に詳しく紹介。無料の館内ガイドやビデオによる解説、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」関連の書籍コーナーもあります。